

令和7年2月14日

各位

会社名 桂川電機株式会社  
代表者名 代表取締役社長 渡邊正禮  
(コード番号：6416 東証スタンダード)

問合せ先  
役職・氏名 常務取締役 朝倉敬一  
電話 03-3758-0181

## 令和7年3月期 通期連結業績予想に関するお知らせ

令和6年5月20日に公表の令和6年3月期決算短信[日本基準](連結)において、未定としておりました令和7年3月期の通期連結業績予想について、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### ● 通期連結業績予想について

令和7年3月期 通期連結業績予想

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	-	-	-	-	-
今回発表予想 (B)	6,200	△ 280	△ 220	△ 270	△ 176.24
増減額 (B-A)	-	-	-	-	-
増減率 (%)	-	-	-	-	-
ご参考：前期実績(令和6年3月期)	6,258	13	188	184	120.35

令和7年3月期 通期連結業績予想公表の理由

令和7年3月期の通期連結業績予想につきましては、業績に与える未確定な要素が多く、これまで未定としておりましたが、現時点で予測可能な情報等を踏まえて算定しましたので、お知らせいたします。

当社グループは、新たな成長を見据えた競争力のある新製品の販売に向けて、原価低減と付加価値を増やし安定した製品等の供給と生産により業績の回復に注力しております。

しかし、当社グループを取り巻く環境は、競合他社との価格競争の激化は続き、部材調達等の改善は見られたものの、長期化の様相を呈するロシアのウクライナ侵攻などから資源価格高騰の影響を受け、これら費用の増加を製品価格に転嫁出来ず、期待していた収益改善が未達となり得ることから、当社グループの事業環境は引き続き厳しい状況が続くものと考えられます。

なお、為替差損益につきましては、当第3四半期で営業外収益に33百万円の為替差益を計上しておりますが、今後の為替の動向につきましては、世界情勢により大きく変動することが考えられます。

実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。また、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

今後開示いたしました連結業績予想に大きな変動が生じ、適正かつ合理的に算定することが可能となった場合は、速やかに公表いたします。

以上